

いつもお世話になりありがとうございます。地井武男の『ちい散歩』、加山雄三の『ゆうゆう散歩』に続く高田純次の『じゅん散歩』が人気です。平成のテキトー男と呼ばれる高田さんですが、説教と昔話と自慢話をしないことがモットーだとか。年と共に体は固くなっても頭と心は柔軟に！散歩をするように人生を楽しみたいものですね。良いお年をお迎えください。

知っとこ！「税務のママ知識」

【出国税とも呼ばれる「国外転出時課税」とは】

平成 27 年度の税制改正において「国外転出をする場合の譲渡所得等の特例（国外転出時課税）」が創設され、平成 27 年 7 月 1 日から施行されました。この制度は「出国税」とも呼ばれ、類似するものは欧米など世界各国においてすでに導入されています。税率を意図的に低くしている国や地域で株式などの資産を売り、課税を逃れるのを防止することが目的とされています。対象となる資産は、国外転出をする時点で 1 億円以上になる有価証券や未決済の信用取引などになります。具体的には、株式や投資信託などの有価証券、匿名組合契約の出資の持分、未決済の信用取引・発行日取引及び未決済のデリバティブ取引（先物取引・オプション取引など）が対象資産に該当します。これらを所有等している一定の居住者に対し対象資産の譲渡等があったものとみなして、その対象資産の含み益に対して所得税が課税されます。国外転出後に確定申告書を提出する場合には「国外転出時の対象資産の価額」、国外転出前に確定申告書を提出する場合には「国外転出予定日の 3 カ月前の日の対象資産の価額」で納税額が計算されます。なお、一定の手続をすることで納税猶予制度や税額を減額するなどの措置を受けることができます。また海外移住だけでなく 1 年を超すような海外転勤や留学も含まれるので注意が必要です。



痛快！えだまめ君

画：ほりひろみ



副所長

たなべしげお

田邊繁雄の ～税務のコラム～

知っとこ！

平成 27 年分所得税から『財産債務調書』の提出制度が始まります！

所得税等の確定申告を提出しなければならない方で、①その年分の所得金額の合計が 2 千万円を超え②その年の 12/31 現在で財産の合計額が 3 億円以上又は合計額が 1 億円以上の有価証券等をお持ちの方は、『財産債務調書』を提出することになっています。記載事項は、財産（債務）の種類・数量・価額等で、事業用以外のものを含みます。従来の「財産及び債務の明細書」に代えて提出するものですが、提出しなければならない方は限定されましたが、より詳細で確実な記載を義務付けられており、記載のために準備していただく資料が数多く必要になっています。ここで気を付けたいのは、上記①の要件で、通常年は提出が不要でも、臨時収入のあった場合に提出が必要になることがある、②の要件で、財産には非上場株式が含まれ、その価額は「額面」ではなく、その法人の純資産価額（資産－負債）をベースとすることです。記載事項の不備に関するペナルティー制度も設けられていますので注意が必要です。



社員のひとこと日記



日に日に寒さが増してくる今日この頃ですが、みなさん体調崩したりされてはいませんか？

巷ではノロウィルスの感染も始まっているらしく、冬ならではの乾燥による感染症がいよいよ広がりを見せるようになってきています。私自身、保険の営業ですので保険加入時の健康診断審査の付き添いで病院へ足を運ぶ機会も多いため、毎年この時期にインフルエンザワクチンの予防接種を受けています。予防接種の際の病院での待合フロアではマスク着用をお勧めします。先にご紹介の通り既に感染症が流行っており『ミイラ取りが・・・』とならないようにお気を付け下さい。まずは帰宅時のうがい・手洗いが効果的です。忘年会等のお帰りの際には念入りに洗いましょうね w 藤本浩司

365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【お金を手にして分かったこと】

「除」には「古いものを捨てて新しいものに移る」という意味があります。ですから、古い年から新しい年に移る大晦日の「夜」を「除夜」というようです。除夜には、暮れゆく年を惜しみつつ一年を締めくくる様々な行事が行われます。108回突かれる除夜の鐘もそのひとつです。



ところで「108」という数は一般的に「煩惱の数」とされています。そもそも煩惱とは自分を悩ませるものや心を乱すもののこと。仏教の根本的な考え方という人の煩惱は大きく3つあり、まとめて「三毒」と呼ばれるそうです。

1つ目は「貪（とん）」、必要以上に欲しがること。2つ目は「瞋（じん）」、自分の心に執着して思い通りにならないと怒ること。3つ目は「痴（ち）」、無知で愚かな考え方にとらわれること。要するに「欲」と「怒り」と「愚かさ」が私たち人間を悩ませ、心を乱すのでしょう。欲の対象はモノに限りません。「もっと〇〇だったら」と人をうらやむことも欲の一種です。もとより思い通りにならないのが世の中なのに、自分の考え方に執着していると、いつもイライラしながら暮らすことになりかねません。そうやって自分で煩惱を生み出してしまうのが人間の愚かさなのではないでしょうか。ある資産家がしみじみ話していたそうです。

それは「人間、どうしたって不安は消えない」ということです。お金がないのは不安だけれど、あればあったで今度は「このお金が減ったらどうしよう」と不安になるし、経済的に満たされても健康や人間関係の不安はつきまとう。商売で成功し、お金持ちになってはじめて「いくらお金があっても不安は消えないことが実感できた」というその人は、改めて「幸せって何だろう」と考えてみたそうです。その答えはあっけないほどシンプルでした。いわく、「今この瞬間を幸せだと思えることが幸せである」と。煩惱は十人十色でも、人生は「今」の積み重ねであることに変わりはありません。つまり商売の成功も「今」の積み重ねだということでしょう。今年も残りわずかです。「今」を悔のないように、商売に励みたいものですね。

